

金沢大学人文学類
発足記念シンポジウム

「見る・聞く・触れる」の人文学
フィールドの**カ**



プログラム

13:10-13:50 ゲスト講演

★入場無料・予約不要

「マヤ文明世界遺産の発掘調査と保存」

サイバー大学世界遺産学部教授 中村誠一

休憩

14:00-14:30 「イタリアの壁画修復と角間キャンパスでの復元」

金沢大学人文学類教授 宮下孝晴

14:30-15:00 「フィールドワークと地理的想像力」

金沢大学人文学類准教授 中島弘二

15:00-15:30 「日本の民俗宗教 — 伝統と現代 —」

金沢大学国際学類准教授 D. K. アンドリュース

休憩

15:45-16:30 パネル・ディスカッション《フィールドの**カ**》

パネリスト 上記発表者

コーディネーター 金沢大学人文学類教授 藤井純夫

日時：2008年12月7日（日）13:00～16:30（受付開始12:30）

場所：金沢大学サテライト・プラザ 3階集会室（金沢市西町3番丁16）

主催：金沢大学人間社会学域人文学類（field@ad.kanazawa-u.ac.jp）

※当日は金沢大学人文学類の進学相談会も開催（11:00-17:00）



フィールドの**カ** —「見る、聞く、触れる」の人文学—

趣旨

平成20年4月、金沢大学に人間社会学域人文学類が発足しました。これを記念して「フィールドのカ〈見る・聞く・触れる〉の人文学」を開催します。人文学類の研究や教育は、研究室で本を読むことだけではありません。フィールド（現地）に出かけ、人びとの暮らし、文化、芸術、風土などからさまざまなものを学びとります。自分自身の五感を大切にしながら、課題発見と解決のための実践的な知識と能力を養います。今回のシンポジウムでは、サイバー大学世界遺産学部の中村誠一教授をゲストスピーカーにお招きするとともに、人文学類に所属する教員が、フィールドワークの魅力を語ります。人文学類の多彩な知のあり方をお楽しみ下さい。

なお、当日は金沢大学人文学類の進学相談会も開催します。入試情報、授業とカリキュラム、大学生活などに関する質問にお答えします。受験生をはじめ、高等学校の進路指導の先生方や保護者の皆様のご来場をお待ちしています。

講演者のプロフィール

サイバー大学世界遺産学部教授 中村誠一（ゲスト・スピーカー）

マヤ考古学者。早稲田大学比較考古学研究所客員教授。マヤ地域で数多くの考古学プロジェクトを指揮し、2000年世界遺産のコパン遺跡で、アクロポリスの外では初めてとなる「王墓」を発見。マヤ調査史上、最大規模のヒスイ製胸飾りなど、その出土品は日本やアメリカのマヤ文明展覧会に出展された。2006年ホンジュラス大統領より文化功労章受賞。『マヤ文明を掘る—コパン王国の物語—』など著書、論文多数。テレビ番組「世界ふしぎ発見！」でお茶の間でも有名。

金沢大学人文学類教授 宮下孝晴

専門は西洋美術史。とくにルネサンスのフレスコ壁画研究の世界的権威。金沢大学が進めているフィレンツェのサンタ・クロッチェ教会大礼拝堂の壁画修復プロジェクトのリーダーとして、国際的に活躍している。著書に『フレスコ画のルネサンス』『宮下孝晴の徹底イタリア案内』他多数。

金沢大学人文学類准教授 中島弘二

専門は人文地理学。従来地理学とは一線を画し、地理を自然と社会との関係の中でとらえる「社会的自然」という概念を提唱している。さらに、そこから自然と人間とのよりよい関係をめざす実践にも研究領域を広げている。論文に「天皇の森」から「県民の森」へ」など。

金沢大学国際学類准教授 デール・K. アンドリューズ

アメリカ合衆国生まれの気鋭の民俗学者。専門は日本民俗学で、とくに青森を中心とした東北地方をフィールドにする。イタコなどのシャマンや、彼らに関わる霊場・祭礼の研究を進めている。博士（文学）。

同時開催

金沢大学人文学類 進学相談会

日時 2008年12月7日（日） 11:00～17:00
場所 金沢大学サテライト・プラザ 2階 講義室
(金沢市西町3番町16 バス停 武蔵ヶ辻・南町より徒歩3分)

- ①人文学類教員による学類案内・進学相談
- ②学類案内のスライドショー
- ③学生によるポスター発表（フィールドワーク、実習）

※申し込みは不要ですが、あらかじめ質問内容等をお知らせいただければ、より詳細な情報を提供することができます。

問い合わせ・連絡先「金沢大学人文学類発足記念シンポジウム事務局」（金沢市角間町金沢大学角間北地区事務部学生課内）

TEL : 076-264-5461

FAX : 076-264-5468

E-mail: field@ad.kanazawa-u.ac.jp